

京都市学校歴史博物館 企画展

2016年7月2日(土)～9月25日(日)

男女共学化の時代

戦後京都の公立高・女子高・男子高

協力：京都教育大学家庭科教育井上えり子研究室・(有)村田堂



アディュー・一九四八年
さらば苦難の年
母校創建の暁鐘鳴り響く
男女共学も軌道に



上左・上右：男女共学が定着し、高校進学率が90%を超えた1970年代後半の京都市内の標準服（村田堂蔵）

中左：『西京学園新聞』創刊号（1948（昭和23）年，西京高校）

中右：戦中生れ世代が高校生になった頃の青春の一コマ（1955（昭和30）年，京都市立高校）

下左：男装して男女共学を表現する女子高の生徒。男女共学は公立共学高だけの問題ではなかった。
〈仮装行列「学生に関する十二音」，1954（昭和29）年，京都市内私立女子高校〉

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）
休館日：毎週水曜日（祝日の場合は翌平日），12月28日～1月4日
入館料：大人200円 小・中・高生100円

学校歴史博物館

検索



市内の小・中学生は、土・日曜日入館無料

団体（20人以上）の場合は、大人160円 小・中・高生80円
※上記の入館料で常設展示と企画展示をご覧いただけます。

T E L : 075-344-1305 F A X : 075-344-1327 ※水曜休館



京都市学校歴史博物館

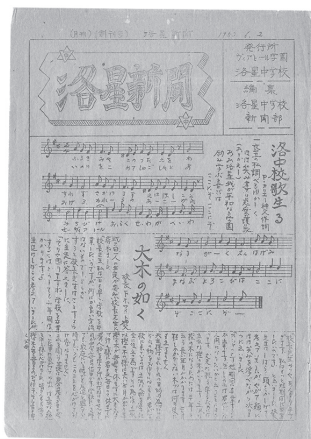
Kyoto Municipal Museum of School History

男女共学化の時代 戦後京都の公立高・女子高・男子高

中等教育の男女共学化は、第二次大戦後、GHQ（連合軍最高司令官総司令部）の意向が強く反映された教育改革によってなされました。この改革は、GHQの下部組織である地方軍政部の指導のもとに各地域で実施され、地方軍政部の管理が厳格だった京都の公立高等学校では、1948（昭和23）年10月に地域制（小学区制）・総合制と同時に実施、徹底されました。

ゆえに、京都では公立高の男女共学が「あたりまえ」だと思われています。しかし、他の地域では、戦後に公立の女子高・男子高が誕生したところがあり、そのうちいくつかは、現在でも男女別学のままです。京都の公立高で男女共学化が実施・徹底できた要因は、いくつかあります。その一つに、京都には戦前から私立の中等教育学校が多く、戦後それらの学校が女子高・男子高になり、男女別学のニーズに応えたことがあります。

本展では、1975（昭和50）年頃までを対象に、京都市内の公立高において男女共学化が実施され、受け止められてきた過程に関連する写真や学校新聞、教科書などを、女子高・男子高の資料も含めて展示することで、京都における男女共学化の時代を描き出します。



1949（昭和24）年に大ヒットした映画・歌謡曲「青い山脈」は、男女共学化のシンボリック的存在だった。
〈初めてのマキノスキー場 1950（昭和25）年1月 京都府立高校〉

戦後には、戦前から続く私学に加え、新しい私学が多く誕生した。
〈『洛星新聞』創刊号 1952（昭和27）年 洛星中学校〉



共学高のフォークダンスでは、手の指の先だけを結ぶのが常だった。
〈フォークダンス 1962（昭和37）年 京都市立高校〉



京都府立高校では、1973（昭和48）年から日本で最初に家庭科の男女共修が行われた。
〈『男女共修 家庭一般 資料』1970年代、京都教育大学家庭科教育井上えり子研究室蔵〉

企画展関連講演会



男女別学の時代と女学校文化

日 時：9月4日（日）14時～15時30分

講 師：稲垣 恭子

（京都大学大学院教育学研究科教授・京都市社会教育委員）

「高校三原則」の実像

日 時：9月24日（土）10時～11時30分

講 師：和崎 光太郎（京都市学校歴史博物館学芸員）



会 場：京都市学校歴史博物館 定 員：申込先着順

参加費：無料（別途入館料が必要） 主 催：京都市学校歴史博物館

受 付：京都市学校歴史博物館への電話（075-344-1305）、

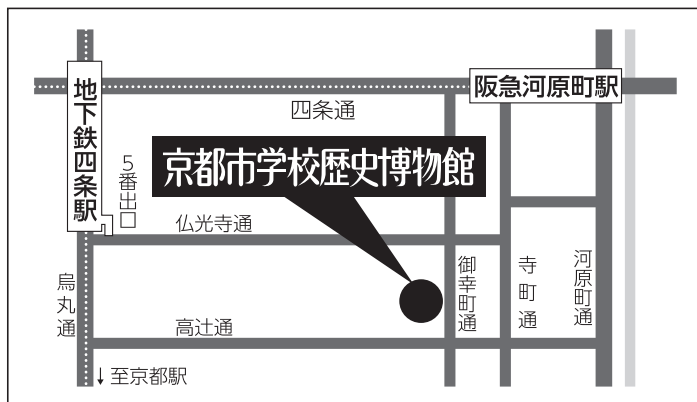
FAX（075-344-1327）、

Eメール（rekihaku-jigyou@edu.city.kyoto.jp）、ハガキ。

※イベント名、連絡先電話番号、参加代表者氏名、参加人数を明記。定員に達しだい受付終了。

学校歴史博物館

検索



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪 急…河 原 町 駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ
京 阪…祇 園 四 条 駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ
地下鉄…烏丸線四條駅 徒歩約12分 5番出口から東へ
市バス…四 条 河 原 町 徒歩約10分 南西へ
市バス…河 原 町 松 原 徒歩約 5分 北西へ



京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437

TEL.075-344-1305 ※水曜休館 <http://kyo-gakurehaku.jp>

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ